

日本経済再生への展望

慶應義塾大学総合政策学部教授

竹^{たけ}中^{なか}平^{へい}蔵^{ぞう}

- *3・5倍になる近隣中間層
- *買い越しはか非か
- *楽観視する黒田総裁
- *空気の景色が景気
- *二つのパッケージ
- *経済成長の怖さ
- *最後のチャンス
- *ミニ独立政府
- *官業の民間開放
- *「アベノリンピック」



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は初めてだと思えますが、竹中平蔵先生
においていただきました。現在、政府では産業
競争力会議と国家戦略特別区域諮問会議の議員
をしておられます。小泉内閣でご活躍され、第
二次安倍内閣でも入閣を期待された方もかなり
おられると思えますが、安倍内閣の中には抵抗
勢力もたくさんいますし、なかなか難しい状況
だったと思えます。

先ほど先生からジャーナリストとしていら
らしているのではないかと問いかけられたので
すが、私よりずっと竹中先生のほうがそうでは
ないかと思えます。構造改革もなかなか進みま
せんが、今が正念場ですから、ここはなんとか
頑張っていたら、少しでもマーケットがき

ちんと機能し、新しい産業が生まれるような状
況をつくっていかねければいけないと思えます。
今日は、先生から思いの丈をお話しいただけれ
ばと考えておりますので、よろしくお願いいた
します。（拍手）

竹中 皆さんこんにちは。ご紹介いただきま
した竹中平蔵でございます。この伝統ある東洋
経済新報社の経済倶楽部にお招きをいただきま
して、見渡したところ本当にそうそうたる先輩
の皆さんの前で、このようにまとまった時間お
話できますことをたいへん光栄に思っており
ます。

思いの丈を話せと言われましたが、本当に話
したら結構大変なことになるかもしれません。
（笑）しかし今、何を言っても失言にならない